

STS 第 48 回研究会講演記録

日時：2016 年 3 月 23 日(木) 15：30～16：45

場所：目黒区田道住区センター三田分室

「科学者の誤りについてーリヴィオ著・“偉大なる失敗” から」

演者：白石浩二

概略：本の扱う内容は、5名の著名な科学者、ダーウィン、ケルヴィン、ポーリング、ホイール、アインシュタインの有名な事績についての考察である。本日は最初の 3 人についてであった。

著者によるとダーウィンの誤りは、融合遺伝、すなわち、両親の特徴が混ぜ合わされた中間のものが、次世代となる、との考え方をとったことである。この誤りがダーウィン独特の遺伝粒子論につながった。

ケルヴィンの誤りは、地球の冷却に基づく地球の年齢算定に関して、対流伝熱の可能性を無視したことであり、著者は思い込みや認知的不協和の問題とした。

演者の見解は、これらの誤りは多分に時代の影響によるものであり、研究者個人の誤りとするのは無理というものであった。

ポーリングの誤りは、DNA の構造に関するものである。化学結合論や蛋白質の構造解析ですでに名を成していたことが背景にあり、著者は、自己過信と DNA についての認識不足などから、誤った構造を提唱したとした。演者は他の心理的要因について述べた。

残り 2 者の誤りについては、次回研究会のテーマとしたいとのことであった。

以上